

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における平成29年度4月～6月期の骨材需給は、公共工事等が横ばいで推移する中で、出荷量、生産量は共に昨年同期と同程度であり、県計では、出荷量は増減なし、生産量は2%増となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量で1%減、生産量で2%減、中越地区は、出荷量で1%増、生産量で6%減、下越地区は、出荷量で3%減、生産量で10%増、佐渡地区は、出荷量で29%増、生産量で18%増となった。

6月末の在庫量は、前年度末より4%増、前年度同期比でも4%増となった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における平成29年度平成29年4月～6月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は7%減、生産量は3%減となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が6%減、生産量が3%減、西部地区は出荷量が8%減、生産量が3%減といずれも減少となった。

出荷量の減少については、東部地区、西部地区ともに公共事業量の減少と、民間投資の落ち込みの影響によるものである。また、生産量については、一部地域において新たな砂利採取計画認可が事実上不可能となっていることや、陸砂利採取において、効率の良い採取地の確保が困難となりつつあること。さらには、需要低迷に対応して生産調整を行っていることが影響している。

6月末在庫量は、前年同期比、東部地区では19%減、西部地区では9%減となり、県全体では18%減となった。これは需要状況をみて在庫調整を進めた結果と考えられる。

※東部、西部の在庫量の精査のため、平成28年度在庫量に変更あり。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における平成29年度4～6月期の骨材(県内産)の需給状況は、前期に引き続き加賀地区の陸砂利・川砂利と山砕石はともに大きく出荷を伸ばしており、また能登地区も1年ぶりに増加となったことから、県計全体の出荷量は前年同期と比べて31%の大幅な増加となった。

地区別の出荷量の比較では、加賀地区は、陸砂利・川砂利が42%の大幅な増加となり、同地区の山砕石も10%の増加となったことから、総じて加賀地区の出荷量は前年同期と比べて31%の増加となった。また能登地区も、依然として県外からの流入材に押されているものの、今期は前年同期比で17%の増加となった。

その今期の出荷量の詳細を見ると、加賀地区の主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利について、主要な需要先である生コン業者向けの出荷は、大口需要の金沢地区は予想以上に堅調に推移し前年同期比で15%の増加を確保し、また南加賀地区は北陸新幹線関連工事の特需が本格化していることから前期よりさらに出荷を伸ばし、前年同期比の増加率は118%に達した。また前期はやや数字を落としていたアスファルト合材業者向けの出荷も、今期は回復急伸して前年同期比で46%の大幅な増加となった。よって以上を合わせた今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で42%の大幅な増加となった。

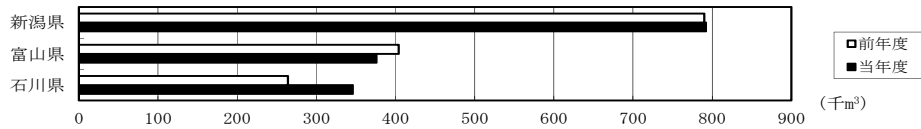
一方、路盤材を主体とする加賀地区の山砕石は、今期も増加基調を維持しており、前年同期比で10%の増加となった。

また能登地区の山砕石については、今期は前年同期比で17%の増加となったものの、やはり実質的な販売量は県外からの流入材に押されてまだまだ少なく、依然としてこの地区の地場産業者の需要環境は、厳しい状況が続いている。

生産量については、加賀・能登地区共に概ね出荷量に合わせた生産体制をとっているため、県計では前年同期比で31%の大幅な増産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利と川砂利の積み上がり在庫がやや解消されたことから、県計全体の前年同期比では10%の減少となった。

骨材出荷量の推移（4月～6月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	平成28年度 年計	平成29年度			
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
新潟県	上越	出荷量	▲1 715	▲1 182			▲1 182
		生産量	▲4 708	▲2 195			▲2 195
		在庫量	▲4 210	▲4 224			▲4 224
	中越	出荷量	▲10 1,110	▲1 278			▲1 278
		生産量	▲14 1,118	▲6 281			▲6 281
		在庫量	▲2 362	▲3 365			▲3 365
	下越	出荷量	▲15 1,250	▲3 287			▲3 287
		生産量	▲20 1,290	▲10 328			▲10 328
		在庫量	▲5 702	▲12 743			▲12 743
	佐渡	出荷量	▲12 206	▲29 45			▲29 45
		生産量	▲6 205	▲18 45			▲18 45
		在庫量	▲2 46	▲8 46			▲8 46
	県計	出荷量	▲10 3,281	▲0 792			▲0 792
		生産量	▲14 3,321	▲2 849			▲2 849
		在庫量	▲2 1,320	▲4 1,378			▲4 1,378
富山県	東部	出荷量	▲19 814	▲6 179			▲6 179
		生産量	▲26 760	▲3 179			▲3 179
		在庫量	▲65 199	▲19 199			▲19 199
	西部	出荷量	▲6 889	▲8 197			▲8 197
		生産量	▲2 876	▲3 194			▲3 194
		在庫量	▲37 42	▲9 40			▲9 40
	県計	出荷量	▲8 1,703	▲7 376			▲7 376
		生産量	▲13 1,636	▲3 373			▲3 373
		在庫量	▲62 241	▲18 239			▲18 239
石川県	加賀	出荷量	▲8 1,216	▲31 339			▲31 339
		生産量	▲4 1,192	▲32 350			▲32 350
		在庫量	▲14 150	▲12 161			▲12 161
	能登	出荷量	▲5 21	▲17 7	-	-	▲17 7
		生産量	▲4 24	▲17 7	-	-	▲17 7
		在庫量	▲60 8	▲60 8	-	-	▲60 8
	県計	出荷量	▲7 1,237	▲31 346			▲31 346
		生産量	▲4 1,216	▲31 357			▲31 357
		在庫量	▲12 158	▲10 169			▲10 169

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県
会 員105社のうち105社

富山県
会 員86社のうち86社
非会員 1社のうち 1社

石川県
会 員21社のうち21社 (委 託加工業者含む)
非会員16社のうち9社
(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)